

# レジメン名称: DLd(ダラザレックス+レブラミド+デキサメタゾン) q4w 多発性骨髄腫

ID \_\_\_\_\_ 患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 (性別 \_\_\_\_\_)

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

HBs 抗原 (+ -) HBe 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日		
		1~2 コース目	3~6 コース目	7 コース目~
		Day 1・8・15・22・29	Day 1・8・15・22・29	Day 1・8・15・22・29
ダラザレックス	16 mg/kg	↓ ↓ ↓ ↓ (毎週)	↓ ↓ (2週毎)	↓ (4週毎)
レブラミド (内服)	25mg/body	↓……………↓ (3週内服、1週休み)	↓……………↓ 3週内服、1週休み	↓……………↓ 3週内服、1週休み
デキサメタゾン (=レナデックス)	40mg/ body/週 (下記参照)	↓↓ ↓↓ ↓↓ ↓↓ ダラザレックスがある週: ダラザレックス投与日 20mg (注射) とその翌日 20mg (内服) " ない週: 40mg (内服)	↓↓ ↓ ↓↓ ↓	↓↓ ↓ ↓ ↓

75歳を超える又は過少体重 (BMI 18.5kg/m<sup>2</sup>未満) の患者ではデキサメタゾンを 20mg/週で投与することも可。その際はダラザレックス投与前に 20mg を投与。

レジメンオーダー以外に必要な処方

レスタミン (10) 5錠、カロナール (200) 5錠、モンテルカスト (10) 1錠 ダラザレックス投与 1~3時間前に

レブラミド 1×朝食後 day1~21 21日分 (Ccr 60を超えるとき 25mg、30-60のとき 10mg)

レナデックス (内服)

1~2 コース目 day 2, 9, 16, 23 20mg(内服、ダラザレックス投与翌日)

3~6 コース目 day 2,16, 20mg(内服、ダラザレックス投与翌日)、day 8,22, 40mg(内服、ダラザレックスのない週)

7 コース目~ day 2 20mg(内服、ダラザレックス投与翌日)、day 8,15, 22 40mg(内服、ダラザレックスのない週)

抗凝固薬 (レブラミド血栓予防、アスピリン 100mg など)

必要時: アシクロビル、フェブリク、ダイフェン

## 注意事項

ダラザレックス: インフュージョンリアクション (気管支痙攣, 蕁麻疹, 低血圧, 意識消失, ショックなど) に注意。

ダラザレックスのルートにはフィルター付き輸液セット (ニプロフィルターセット STFPGP-20BRCG) 使用

クームス試験に影響を与えるため、ダラザレックスの投与をすることを検査科へ連絡してください。

ダラザレックス投与方法																									
1	(ケモセーフ点滴セット不要) <span style="border: 1px solid black;">フィルター付きセットを使用</span> 生食 100mL、メインルートをプライミング、ゆっくり (ルートキープ)																								
2	レスタミン (10) 5錠、カロナール (200) 5錠、モンテルカスト (10) 1錠 内服																								
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 6A、生食 50mL、15分で メインルートから投与																								
4	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ルートキープ 60分 残破棄可																								
5	<p><b>ダラザレックス</b> _____ mg、生食 適量、全量：初回 1000 mL、2回目以降 500 mL</p> <p>メインルートから</p> <p><span style="border: 1px solid black;">速度変更時に体温、脈拍、血圧測定</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>点滴速度</th> <th>全量</th> <th>0～1時間</th> <th>1～2時間</th> <th>2～3時間</th> <th>3時間目以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初回 (約6時間30分)</td> <td>1000 mL</td> <td rowspan="2">50 mL/h</td> <td rowspan="2">100 mL/h</td> <td rowspan="2">150 mL/h</td> <td rowspan="2">200 mL/h</td> </tr> <tr> <td>2回目 (約4時間)</td> <td>500 mL</td> </tr> <tr> <td>3回目以降 (約3時間15分)</td> <td>500 mL</td> <td>100 mL/h</td> <td>150 mL/h</td> <td colspan="2">200 mL/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>初回投与開始時から3時間以内に infusion reaction が認められなかった場合、500mL とすることができる。 初回および2回目投与時の最終速度が 100mL/h 以上で infusion reaction が認められなかった場合、100mL/h から開始することができる。</p>					点滴速度	全量	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間目以降	初回 (約6時間30分)	1000 mL	50 mL/h	100 mL/h	150 mL/h	200 mL/h	2回目 (約4時間)	500 mL	3回目以降 (約3時間15分)	500 mL	100 mL/h	150 mL/h	200 mL/h	
点滴速度	全量	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間目以降																				
初回 (約6時間30分)	1000 mL	50 mL/h	100 mL/h	150 mL/h	200 mL/h																				
2回目 (約4時間)	500 mL																								
3回目以降 (約3時間15分)	500 mL	100 mL/h	150 mL/h	200 mL/h																					
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄																								